

広報  
**かがやま**

交通安全  
 青少年愛護  
 宣言都市

発行 福井県勝山市  
 編集 勝山市総務課



10月は…体力づくり月間、古タイヤなどを利用した遊具で、遊びのなかで体力づくりに  
 はげむ…鹿谷小学校の児童

- 一日(日) 法の日
- 八日(日) 寒 露
- 十日(火) 体育の日
- 交通事故ゼロの日
- 青少年を守る日
- 十三日(金) 秋季消防演習
- 市民防火の日
- 十四日(土) 鉄道記念日
- 青年フュースタイル前夜祭
- 青年フュースティバル
- 文化講演会 坂本二郎
- 家庭の日
- 貯蓄の日
- 市民総合相談日
- 十三夜
- 土 用
- 祭 降
- 電信電話記念日
- みんなの生活展(二十七日まで)
- 市・県民税(第三期)
- 納税日
- 文化講演会 五代利矢子
- 読書週間
- 健康優良家庭表彰式
- 講演会 宮本 忠
- 二十一日(火) 文化講演会 平岩 け枝
- 体力づくり月間
- 赤い羽根共同募金運動



# 中部中学校舎建設費など

## 一般会計 補正予算 八千六百二十七万六千円ほか七議案を可決

### 九月定例市議会

九月定例市議会は九月二十一日から二十二日間開かれ、市長提案のあいさつ、提案理由の説明があり、二十二日、二十五日の両日一般質問のあと各委員会に付託、慎重に審査され、最終日十月二日に本会議を開き、一般会計補正予算、八千六百二十七万六千円ほか七議案を原案どおり可決、昭和四十六年度勝山市水道事業決算を議定、広城市町村圏振興整備重要綱の法制化、京福電鉄越前本線勝山—京福大野間の路線計画中止に関する二つの決議案が決議され閉会しました。本市議会での委員会の報告、一般質問はつぎのとおりです。

本議会でつぎの方がそれぞれの委員に選ばれました。

△人権擁護委員

古川 正一(61) 栗町三丁目

△固定資産評価審査委員

山内 勘重(68) 鹿谷町本郷

△農業

上山 登(43) 平泉寺町大漕

△公平委員

玉木 一雄(63) 野向町牛ヶ谷

△総務委員会(西出委員長)

総務委員会に付託された特別職の職員の手当支給額の承認と勝山市消防職員給与品および貸与品支給条例の廃止についての一議案は原案どおり可決、請願、京福電鉄勝山、大野間路線の反対は請願の趣旨をとりし深沢しました。

△建設委員会(島田委員長)

建設委員会に付託された勝山市都市計画土地地区調整事業特別会計補正予算は原案どおり可決、昭和四十六年度勝山市水道事業決算の認定については、原案どおり認定しました。

△請願市道鹿谷十四号線、十五号線

の路線一部変更と整備拡張はか一件はよく検討協議したいとのことで閉会中の継続審査と決定、請願中部中学校への通学路新設はか一件は採択されました。なお閉会中の継続審査となっていた陳情市道運羽十五号線の一部拡張についてはなお検討を要することとて再び閉会中の継続審査に付されました。医療通学路の完備については採択されました。

△産業経済委員会(吉原委員長)

産業経済委員会に付託された議案昭和四十七年度勝山市農業共済事業特別会計補正予算は原案どおり可決しました。

△教育民生委員会(今井委員長)

教育民生委員会に付託された請願市立保育所の新設については、願意は了とするも請願文中に昭和四十八年度に建設を定めることについては鋭意努力はするにしても財政その他の理由から必ずしもこだわらないということで採択されました。

△全員審査特別委員会(石谷副委員長)

全員審査特別委員会に付託された議案昭和四十七年度勝山市一般会計補正予算、勝山市財政再建計画の変更についての二件について慎重に審査し、二件とも原案どおり可決されました。

## 一般質問

玉木議員①の五月に組合活動が勤務時間に食い込むという事象がおきたが、市長はそれについてどのように処置したか。

市長②③そのような事態が発生したことは事実で、申し訳ないと思う。関係者に今後このようなことのないよう慎重に注意した。

玉木議員④乳幼児に対する予防接種の通知が、実施日より遅れて配布されたのはなぜか。

保健衛生課長⑤乳幼児の予防接種などの通知は、実施日の一週間前に発送しているが、何かの手違いで遅れど迷惑をかけたと思う。今後遺憾のないよう注意する。

玉木議員⑥年功序列、学歴偏重などによらないで人事刷新できないか。

市長⑦人事の刷新については前向きで、機会をとらえてやりたい。

玉木議員⑧市の総合振興計画は長期的計画で理想像を呈しているが、予算計画はどのようなになっているか。

助役⑨総合振興計画は昭和六十年を目標で立案中で、具など上位との計画にも合わせ、確認しながら立案している。基本計画にも財政的な面も検討してお回りしているが、実施計画は一三三年となつていく。実施計画はローリング方式をとり入れ実施したい。

玉木議員⑩老人医療費無料を

実施しているが、明年一月から四が相当額負担することだが、市の負担が軽くなるから所得制限を廃してよく考えはないか。

市長⑪よく検討してみなければわからないが、国の方針もあるのでむづかしい。

玉木議員⑫荒土町新保、松ヶ崎地区は工場進出などで、一般家庭の井戸が枯渇しているが、その対策と、水道拡張計画の時期を問う。

水道課長⑬新保、松ヶ崎地区の水道計画は、給水量に四千トンの余裕があるので、四次拡張計画の中でやりたい。上級官庁の承認を求め、経費その他のこともあるので、来年以降計画をすすめた

玉木議員⑭成人式の運営を成人にまかせるという報道があったが、当然市がやるべきで問題があると思うが市の考えはどうか。

教育長⑮成人式のあり方に批判があるが、青年の自主的行事としたい。特に戦時に行なうことには変りない。

玉木議員⑯公民館運営について勤務状況が悪い。巡回指導して改善せよ。市一本の老後会をやるという噂があるが、今後の方針を問う。

教育長⑰公民館職員は業務が多岐多様で苦労があるが努力している。巡回指導は月一回行なつて

いる。敬老会は市一本で実施することは困難で、現在は考えていない。

山岸議員④老人医療無料化とともに〇才児の医療の無料化を実施する考えはないか。

市長④〇才児医療無料化を実施したいが、老人医療の無料化がようやく軌道にのった時でもあり再建団体という立場から他市にさきがけて実施するのは無理だと思ふ。

山岸議員⑤請負工事人札の公正について、議員の兼業禁止の法的精神を生かし、入札指名公正をはかるべきだ、代理人の資格はどのようなものか。

建設課長⑥法の趣旨を尊重している。代理人の資格は指定した人と同等以上の能力、資格のあるもの、法人においては構成員であればよい。代理人の資格については県の指針によっている。

山岸議員⑦日蓮宗の募集について資格者名簿の提出や、日蓮宗協力会長に市長がなっているが直ちにやめるべきだ。

自衛隊の分駐所に市の施設を貸しているがすみやかに廃止せよ。

市長⑧資格者名簿については部長通達によって行なっている。会長は市長である。分駐所は行料で貸している。これらについては現段階ではやめる意思はもっていない。事情を見極めて対処していく。

島田香議員①騒音公害と工場移転などに市はどのような姿勢をもってしているか。

市長①公害問題は真剣に対処すべきだ。工場移転についてはできるだけ道路整備をはかり、環境条件を良くするよう努力する。直接的な援助はいまのところ考えていない。

総務課長②騒音測定の結果、百十一工場が不適合で、わずかに工場が適合している現状である。これらの工場は昭和五十年までに設備改善するよう指導している。

島田香議員③遊業廃棄物の処理は自己処理が原則だが、小企業では場所等の問題もあり共同処理方式が考えられるが、土地のあり、処理方法など市はどのような考え方をしているか。

市長④遊業廃棄物の処理については、企業側もいろいろ検討しているようで近く結論が出ると思ふ。市の施設を利用してよいと考えている。

島田香議員⑤女子高等学校の今後の対策について問う。

教育長⑥集訓就職者の減少と高校進学率の向上で、生徒数が激減、現在の三年生(十七人)が卒業卒業するので廃校する予定である。今後は青年学級などで吸収していきたい。

島田香議員⑦小規模の土木工事の迅速化をはかるため、直営工手を強化する必要があると思ふが考えを問う。

市長⑧土木小工事の直営方式はとらないが、工夫して直営方式のように効率を上げていきたい。島田香議員⑨公民館にある地籍図は住民の利便度が高いので整備する必要はあるが、どのようにしているか。

市長⑩地籍図の整備は、トレスターフィルムを使って、整備していきたい。都市計画区画整理、基盤整備が終わってから実施していきたい。

島田香議員⑪消防防具年令について引上げのために条例改正する意志はないか。

消防署長⑫条例では十八才以上五十才までと規定している。五十才以上でもじゆうぶん活躍できるので、来年度から年令制限を廃止するよう検討したい。

斎藤七左工門議員⑬総合振興計画の基本構想のなかで、商工観光、農林、保健衛生の面で、どのような目標をもって立案しているか。

商工観光課長⑭例えば駐車場施設の設置については、市民の了解が得られるならば、寺院の境内などを開放するような措置をしたい。また墓地も出来れば共同墓地の設置が必要である。花店街の近代化をすすめるために共同店舗の造成また男子雇用型の企業の誘致については、工場敷地の造成が問題になるが、四十八年度中にめどがつけばよいと考えている。

農林課長⑮農業団地の育成と所帯の増進をはかるよう計画したい。林道の開発については観光面と両立するようにしたい。

保健衛生課長⑯医療機関の充実については勝山病院、病室、診療所の医療体制を考えている。診療所の医師の確保についても困難

な問題であるが、よく検討している。助役⑰基本構想の骨子案にはじゆうぶん市民の要望が反映するよう今後審議会において検討していただく考えである。

斎藤七左工門議員⑱原山の観光開発について不動産業者が権限する傾向にあるが、過剰地の開発という点では、地元は感謝している。市有林は売却せずに貸付借契約でいく考えはないか。また開発公社でやれないものか問う。

市長⑲市有財産を軽々しく売却すべきではないと考えるが、杉山区の方々が市有林の売却を希望されている。開発が真に行なわれるならば売却もいとわない。企業は買収が基本的で、貸付借契約は不可能だと思ふ。土地開発公社は観光事業をやることは出来ないと思ふが検討する。

山内秋雄議員⑳一般質問に対する答弁の性格とその処理について問う。

市長⑳答弁はあくまで正しいもので、議会、市民に対する公約と心得ている。処理については、各課長に連絡して実行するようにしている。はし、将来のこと、現実のこともあるが、すぐできないこともある。議会前後には必ず課長会議を開き、前は議案の検討後は答弁の処理について協議している。

山内秋雄議員㉑中学校建設に伴う体系的な年次計画が必要だと考えるが、その整備計画はできているか。

教育長㉒整備計画については経済的な面もあるが、ご理解をいただき協力願いたい。計画案はできているが、後日書面で提出する。

山内秋雄議員㉓統合中学校は統合の精神に合致した平等の教育がなされるべきだ。中部、南部両中学校の設計図をみたが理科室がたりないと思うが理科の授業がうまくできるのか。

教育長㉔文部省の補助基準が少ない。財政面のこともあるが、何んとか運営できると思ふ。また将来増築できるように設計されている。

# としよりと子どもは 動く赤信号

市民総ぐるみで「交通事故」をなくそう

# 栄誉に輝く人びと



市は、毎年市制施行記念日の九月一日、市表彰規定により功績のあった方々を表彰いたしており、今年はずきの方々が栄誉に輝きました。また、多額の金品を寄贈されたお二人に感謝状を贈りました。

(写真は九月一日午後一時より開かれた表彰式で表彰される被表彰者)

▽義務教育振興  
前田 宏幸(57) 鹿谷町木郷  
北都中学校長

笠川 栄(51) 北郷町森川  
平泉寺小学校長

▽年金制度の振興  
山口 興作(69) 沢町二丁目  
国民年金委員

▽交通安全指針  
笠川 浩(47) 北郷町東野

交通指導員  
▽社会福祉に貢献  
北川喜代治(59) 沢町二丁目  
民生(児童)委員

▽友愛精神の模範  
斉藤 秀俊(15) 鹿谷町木郷  
北都中学校生徒

▽消防活動に精励  
故朝田 喜一 野向町森谷  
元市消防団第七分団副分団長

▽防火管理、防火教育の推進  
勝山市防火管理研究会

▽防火知識、蓄火心の高揚  
勝山市少年消防クラブ

▽社会奉仕活動の推進  
志愛クラブ  
感涙状

山崎 信夫(35) 京都市在住  
多田 浩(47) 大阪市在住

## おたずねの 答えて

最近、道路のあちらこちらに、スクールゾーンの標識板や路面に黄色い「文」という大きな文字が、書かれています。このような道路全部にどんな制約があるのでしょうか  
(市内一ドライバー)



おたずねの標識板や文字がかかっている道路全部が、交通規制をうけるわけではありません。

簡単に申しますと、「これは小学校を中心とした児童、生徒の通学区域です」という案内標識板です。

市内では現在成器南小学校、成器西小学校の通学路を指定しているところで、スクールゾーンの設定について若干説明します。

地域社会を形成する核として、小学校をとらえ、これを中心とした一定地域に効果的な対策を講じた地域住民の日常生活をとりまく、

交通環境の合理化をはかるとともに、地域住民がこれに参加することによって交通安全意識の高揚を促進することを目的としています。

したがって、この区域で実際に交通規制をされる道路については公安委員会が、道交法に基づき規制標識を別に立てますので、その規制を守っていただくこととなります。

しかし、おたずねのような標識や標示をしてある区域では、児童生徒の通行が多いので、注意願いたい道路です。



# 文

### 善意銀行

ありがとうございました。  
善意銀行へ預託された方々

#### 現金

- 下元二区有志一岡、一万二千六百四円
- 福島秀雄ほか二名(元町三丁目) 四百八十二円
- 勝山病院 一泊者、一千円
- ポイイスカウト 勝山第三回カモンシカ隊八名、四千四百十円
- 朝日兵衛(鹿谷町北西) 四千円
- 石坂弘之(村岡町浄土寺) 二千五百円
- 勝山中学校一年六組、一万六千円
- 茶谷勝治(元町一丁目) 二万円
- 上山喜久也、一千四百七十七円
- 福井精養勝山工場従業員一同、一万五千八百八円
- 福井精養勝山工場バレー部 二千四百円
- 勝山奥子組合互助会、一万五千円
- 丸屋正志(本町二丁目) 二万円
- 鳥山裕子(元町一丁目) 一萬二千元
- 斎藤愛子(本町四丁目) 一万円
- 清水 兼(芳野町一丁目) 五千円
- 柴田徳広(昭和町一丁目) 三千六百七十七円
- 松浦せつ(京川町二丁目) 五百六十円
- 村山茂彦(芳野町二丁目) 一千円
- 河合実、五百円
- 原山隆彦(荒土町細野) 二万円

#### 物品

- 織田栄美子、織田幸子(退場町千代山) 衣類 四十八点



# キャンプの思い出

成西小六年 八百孝子

七月二十六、二十七日とあった、林間学校(キャンプ)で一番楽しかったのは、やはり、二十六日の夜だった。

わたしは、キャンプファイヤーがこんなに、すばらしいと思わなかった。

まっ暗い夜空に赤々と、とびちる火の粉、まるで花火のように美しかった。

みんなセンモニファイヤーではひとくちもしやばらなかつた。火がぼうぼうともえてきた。

「うわ／＼」と思わずさげんでみたくなるほどだった。でも心でじっとがまんしていた。

その火の中に 父、母、姉、妹の顔がうつった。家族のことを思い出しておもわずなみだが出てしまったテント村に帰る時の、点々と続くローソクの明り、わたしは、前の方だったので、後を少しふりむいて、みた。みんなは、白い服を着ていて、まるでキリスト教の信者みたいだった。ローソクのおかりがくねくねまがって、なんともいえないくらい、すばらしかった。

テントにはすぐ着いた。もつと長く歩き続けたい気持ちで、なごりをおしんでローソクの火を消した。

テントの中はせまく、やつとねられるくらいだったとなりのテントがとつともうるさくて、あまりねられなかつた。

オリエンテイリングもおもしろかった。なにか地図を持ち、それをたよりに、道にある判をおしてくるのだ。はじめてなので、不安だったが、みんなの協力のありがたさを、ここでもしみじみと、味あうことができた。

もう一度、こんなキャンプ生活をしたいなあーと思ってる。



# たすけあいに広がり 共同募金はじまる

10月1日から 12月末日まで

赤い羽根でおなじみの共同募金が、十月一日から始まりました。ことは「たすけあいに広がり」をスローガンに全国一せいに募金運動が始まりました。この運動の趣旨は、すでにご承知のとおりです。

市民のみなさんの暖かいご協力を得て、毎年目標額を達成いたしておりますが、今年も、よろしくご協力をねがいたします。

共同募金は、昭和二十二年にはじめられ今日に至っているわが国で最も大きい助けあい運動です。募金されたお金は、全部福井県共同募金会へおさめられ、その額に応じて、勝山市へ配分されたお金は、社会福祉協議会が、民間社会福祉施設の整備をはじめ、地域福祉活動事業費、振興事業費などに

あてられています。年々、施設や地域福祉活動への共同募金に対する配分需要は次第に増加しています。これらの期待

## 苦情をなくして明るく生活

### 行政相談のおすすめ

10月15日から行政相談週間

に添うよう今後も助けあいの心をじゆうぶん発揮していただくようお願いいたします。

役所の仕事にはいろいろありますが、行政相談で扱うのは、国の役所の仕事をはじめとして、国鉄電々公社、専売公社、公団、公庫事業団などのように、国から特別の監督をうけている法人の仕事、あるいは、都道府県や市町村などの仕事のうちで、国から任せられている補助金をうけたりして行なっている仕事についての苦情などです。

- ▽ ナキバキやってもらえない
- ▽ 不親切な扱いを受けた
- ▽ 納得できない
- ▽ どうしてよいかわからない
- ▽ こうしてほしい

こうゆう方は、行政相談員に申し出てください。

勝山市の相談委員は  
野辺 宏(木町二丁目) 電話

みなさんがたばこを市内の店で買われると市にたばこ消費税が専売公社から納入されます。それが市の行なう事業の財源となり、みなさんがより豊かな住みよい生活が出来るように使われています。出張される時、出張先にいられるとき、なるべく市内のたばこ屋でお求めになってください。みなさんの協力で市の食所がうるおうことになります。

たばこは市内で求めましょう  
たばこ消費税は、市の大きな財源のひとつです

八局 一五六一  
申し出は 直接、口頭でなさることをおすすめします。簡単なものは、手紙でも、電話でも結構です。

### 第二回米生産額整理地確認が十月下旬に行なわれます

米生産額整理水田に植付けられた杉、その他永年作物の現場検査が十月下旬に行なわれます。

植付株間、排水、草刈など適正な管理を早急に行なってください。また、農地転用の手続きをしませんと、補助金を返還しなければならなくなることもあるので、手続きが終っているか確認してください。

### 若人の祭典

## 青年フェスティバル

10月14日・15日の両日

勝山に住む青年たちが、「誰もが住みたくなる勝山づくり」をめざして、若い力を結集しようとして、一年の時間をかけ、練り上げた青年フェスティバルが、いよいよ十月十四日、十五日の二日間にわたって行なわれます。

フェスティバルの日程と内容、会場はつぎのとおりです。

▽十月十四日 前夜祭

場所 九頭竜河原広場

時間 午後六時～九時

「炎と歌とおどりのつどい」

出演歌手、東芝レコード

「四季のうた」の 片山知子

ホモ・ナビエンス

バンド演奏、勝高プラスチックバンド

市内エレキバンド

県レクリエーション協会指導によるフアィヤー

(雨天のときは市民会館)

▽十月十五日 研修

場所 市民会館

午前十時から、グループ・サークル紹介展

午後二時から、青年会議

テーマ 「青年と余暇」

「外からみた勝山」

「LOVE……」

午後六時三十分から

琴演奏 千種会

午後七時から 文化講演会

講師 未来学者 坂本二郎

「未来に生きる」

### 文化祭参加

# みんなの生活展

10月25. 26. 27日

と今日の消費者問題に目を向けなければなりません。

市は、県と共催で昨年に引続き「みんなの生活展」を開きます。この展示会では、消費者自身が考えなおさねばならないことを、例をあげて訴えます。この機会をのがさず、いろんな問題にどう対処していくかを考えていただく場として企画しました。

ぜひ、ご来場ください。

展示内容(パネル構成)

◇

消費者をとりまく環境は

いまだ大きく変わりつつあり

ます。私的消費は西欧なみの豊かな水準に達し、生活の内容も多種多様化してきました。

しかし、一方では消費生活における食品公害、誇大広告、欠陥商品、物価高、住宅難、社会的施設の不備など多くの生活障害が深刻化している事実をみると

わたしたち消費者は、もっと

消費者をとりまく環境は

いまだ大きく変わりつつあり

ます。私的消費は西欧なみの豊かな水準に達し、生活の内容も多種多様化してきました。

しかし、一方では消費生活における食品公害、誇大広告、欠陥商品、物価高、住宅難、社会的施設の不備など多くの生活障害が深刻化している事実をみると

わたしたち消費者は、もっと

消費者をとりまく環境は

いまだ大きく変わりつつあり

ます。私的消費は西欧なみの豊かな水準に達し、生活の内容も多種多様化してきました。

しかし、一方では消費生活における食品公害、誇大広告、欠陥商品、物価高、住宅難、社会的施設の不備など多くの生活障害が深刻化している事実をみると

わたしたち消費者は、もっと

消費者をとりまく環境は

いまだ大きく変わりつつあり

ます。私的消費は西欧なみの豊かな水準に達し、生活の内容も多種多様化してきました。

しかし、一方では消費生活における食品公害、誇大広告、欠陥商品、物価高、住宅難、社会的施設の不備など多くの生活障害が深刻化している事実をみると

わたしたち消費者は、もっと

消費者をとりまく環境は

いまだ大きく変わりつつあり

ます。私的消費は西欧なみの豊かな水準に達し、生活の内容も多種多様化してきました。

しかし、一方では消費生活における食品公害、誇大広告、欠陥商品、物価高、住宅難、社会的施設の不備など多くの生活障害が深刻化している事実をみると

わたしたち消費者は、もっと

消費者をとりまく環境は

いまだ大きく変わりつつあり

ます。私的消費は西欧なみの豊かな水準に達し、生活の内容も多種多様化してきました。

しかし、一方では消費生活における食品公害、誇大広告、欠陥商品、物価高、住宅難、社会的施設の不備など多くの生活障害が深刻化している事実をみると



### もし地震がおきたら

去る八月三十日、福井県と岐阜県の県境を震源地として、震度三の地震が発生、以来たびたび微震がおきています。

もし、地震がおきた時、どうしたらよいかを、つぎのことを日

常家庭で、職場で、その対策について話し合ひましょう。

1 地震の心得十か条

① すばやく火の始末とプロパンガス、ボンベの元栓をしめる

② あわてて戸外に飛び出さないで、まづ丈夫な家具などに身を寄せる。

③ 一分間たったら安心

④ 火が出たら、まづ消火

⑤ 避難は、徒歩で持物は最

少限

⑥ せまい路地、へいざわ、

がけや川べりに近寄らない

⑦ 山津波、がけ崩れに注意

⑧ 氾地では浸水に注意

⑨ 余震をおそれず、デマに

迷うな

⑩ 秩序をまもり、衛生に注意

⑪ 地震による被害は、地震そのものよりも、地震の際に起きる

火災によるものが大きくなりま

すので、家庭での出火防止と初

期消火方法を習得することがた

いせつです。

2 日常の心がけ

① ストープ、コンロなど火を

使う器具の周辺の整理整とん

② 灯油、ペンジンなど危険物の保管場所を点検整備する

③ プロパンガス、ボンベは倒れないよう固定しておく

④ 消火器、消火用水などの整備と使い方の訓練をしておく

⑤ 隣近所がお互いに協力して消火活動などのため、自衛消防体制をつくっておく

避難に対する日常の心得

① 地震たと感じたら、落ちついて情勢を判断し、安全な方法で避難ができるよう、ふたんから避難コースを決めておく

② 飲料水、食糧、貴重品、トランジスターラジオ、衣類、救急医薬品などを非常袋にいれて備えておく

③ 家族全員で避難できない場合には、それぞれの場合に応じて避難場所を話しあつて決めておく

④ 応急手当の技術を習得しておく

その他、のこぎり、なた、

ハール、スコップ、ロープ、懐

中電灯、毛布、消火器、バケツ

など何時でも持ち出せるように

準備しておくことよ。



# あなたは市の宝です

## 市長 97才の“中村ひのさん”を訪問



市は毎年、老人福祉週間にな  
み、高令者（八十八才以上）を慰  
問していますが、ことしも市内の  
高令者五十七人を慰問しました。  
市の最高令者は、鹿谷町本郷、  
中村ひのさん（九十七才）この日  
高野市長と坪内福祉事務所長が中  
村さん宅を訪問、激励しました。  
市長は、「あなたは勝山市民の宝  
です。どうぞ、体につけて長  
生きしてください」と激励、ひの  
さんは、「健康で働かせていた

いたことと何でも好き嫌いなくお  
いしく食べられることが、長生き  
した秘訣でしょう」と話していま  
した。また、家族の人に大事にし  
てもらっているので、心が安定してい  
るからだとも語っておられました。  
明治、大正、昭和と生きてこら  
れたひのさんは、生きた歴史の保  
持者ともいえる、ほんとうに勝山  
市の宝です。市長からお祝いのプ  
ドウ酒をもらって、ひのさんは大  
喜びでした。

おばあちゃん、お肩をたたきま  
しよ、とお歌をうたいながら、ト  
ントン、トントントントントと、  
大野市にある老人ホーム「和光園」  
を訪問した市立中央保育所（伊藤  
智子所長）の園児六十三人は、元  
気よくお年寄りの肩たたきをしま  
した。

この日、二台のマイクロボスに  
分乗した園児たちは午前十時ホー  
ムにつき、さっそく食堂に集った  
お年寄り百五十八人に、みんな  
作った色紙細工や絵をプレゼント  
お歌やお遊戯を披露して、お年寄

### おばあちゃんお肩を

### たたきましよ

### 保育所園児―老人ホーム慰問

りから大かっさいをうけました。  
お年寄りは贈られたアメをしや  
ぶりながら、小さな手で一生懸命  
肩をたく園児に目を細め、たい  
へん喜んでいました。孫を抱くよ  
うにひざにのせ喜ぶ老人の目から  
キラリと光るものがありました。  
十五日敬老の日には、高野市長  
が一日園長として、同ホームのお  
年寄りを慰問されました。

（写真はおばあちゃんたちの肩を  
一生懸命にたたいている園児ら）



### 子宮ガンの検診を うけよう

近年、子宮ガンによる死亡率が  
高くなっています。福井県医師会  
は、この対策として、子宮ガン検  
診車を購入、県内各地を巡回し、  
ご婦人のもっとも恐ろしい子宮ガン  
の早期発見に活動しています。

この検診車は、移動診察室とも  
呼ばれ、県下で、たった一台しか  
ありません。そのため、各地から  
ひっぱりだこで、なかなか巡回し  
ていただけません。そこで勝山市  
へ来ていただくためには、前も  
て受診を希望する人数を確かめて  
おいて、配車を申し込まなければ  
ならないので、希望の方は、直接  
市役所保健衛生課へ申し込んでく  
ださい。

婦人科医の協力で行なわれるこ  
の機会に、婦人のあらゆる病気を  
みつけてもらい、早期治療で健康  
を維持しましょう。

勝山市への巡回予定は三月以後  
になると想います。この検診車は  
一日約五十人診察することが出  
ます。受診したい方は早く申し込  
んでください。





### あなたの年金を五割増に

掛け金は、ふん免するから、もつとデッカイ年金をと希望される方へとおきの話をひとつ。

国民年金の所得比例制度というのがあります。一般の加入者が納めている一か月五百五十円の掛け金のほかに、所得比例分として三百五十円、よけいに納めていただきますと、その分だけ加算して年金を支給するという仕組みです。

老令年金は、二十五年間掛け金をした場合、月額八千円となっていますが、所得比例制に加入していただきますと、月額四千五百円加算され、合計一万二千五百円が毎月あなたのふところへ入るという決定になり、つまり、あなたの年金が五割増になるというわけです。

#### 加入できる人は

一般の人より高い掛け金を納めた、国もそれに対して、四分の一を上積みするわけですから、だれでも、加入できるものではありません。

人口	15,743人
男	17,099人
女	32,842人
計	7,640戸
世帯	7,640戸
(昭47.9.1.現在)	

掛け金を免除されている人は、遠慮してもらうことになっていきます。年金時代を迎えて、市内でもこの所得比例制に加入する人がふえています。また、加入していない人は、いますぐ市役所の年金係で加入の手続きをしてください。あなたの老後をより豊かにするため、おすすすめします。

10月29日

### 国保加入者の健康優良家庭表彰式

#### 表彰式

市の国民健康保険に、市民の約四十一パーセントにあたる一万二千五百人の方が加入されています。そのうち、昭和四十六年度中に、おいて、健康に恵まれ、一度も医者にかからず、しかも市税を完納された方が百八十六世帯、二百七十一人ありました。この方々は、日ごろから健康に留意されるとともに、納税にも深

い理解をもたれ、国民健康保険の健全運営に協力されましたので、その功績に感謝する意味から、次のとおり表彰式をおこないます。該当のご家庭へ別途ご連絡します。ぜひご出席ください。

#### ◎健康優良家庭表彰式

とき 十月二十九日(日)

午前九時より十時まで

ところ 市民会館大ホール

感謝状と記念品贈呈

#### 「思春期」の著者

宮本 忍先生の講演会

十月二十九日行なわれる国民健康保険加入者の健康優良家庭表彰式のと、日大医学部教授、宮本忍先生の特別記念講演があります。この講演会は勝山市医師会のご協力で開催するもので、性の開放時代といわれる現代に、生きる魂も子も、正しい性の認識をもって人生を豊かあるものとして、考えてみたいものです。この機会をのがさず、市民多数のご聴講をおすすめします。時間は午前十時から十二時まで、会場は市民会館大ホールです。

#### 住みよい社会をつくる

#### 郵便貯金

みなさんに親しまれ、貯蓄としてご利用いただいている郵便貯金は、国の財政投融資の一環として、大蔵省資金運用部を通じて、運用され、みなさんのくらしに、関係の

深い住宅、病院、学校の建設、公害の防止、道路、鉄道の建設、上下水道、清浄施設の整備、農林漁業、中小企業の近代化など、身近かな生活の充実にたいへん役だっています。

勝山市においても、道路整備事業、一般公共事業(農業基盤)災害復旧事業(土木、農林)などの資金へ融資され、住みよい社会づくりに大きな働きをしています。また、これがみなさんの身近かで豊かな生活設計にお手伝いしています。なかでも定期貯金は六か月たてば、いつでもおろせる便利さのほか、半年ごと利息と元金に組み入れる独自の利息計算による有利な点が好評です。これを利用なさることで、明年一月から一人に十万円まで六か月間貸出しができる予定になっています。

いつもみなさんのおそばで、住みよい社会づくりのために活躍している、郵便貯金をぜひ貯蓄計画に加えていただき活用してください。

郵便局では、政府関係機関などの後援や協賛をえて、いま、郵便貯金をご理解いただくための奨励運動を行なっています。

(勝山郵便局)



自転車の防犯登録を忘れずに行きましょう

ただいま、自転車の登録証の切り替えをしています。忘れずに登録を済ませてください。

勝山警察署

### 家庭の日

10月は15日です

スポーツをたのしみ

よい木に親しもう



10月18日は

市民総合相談日

場所 市民会館

交通事故相談

行政苦情相談

人権相談

10月の保健相談日は18日(水) 担当は 角 文雄先生(小児科、内科)です。お気軽にどうぞ。